

令和元年度
宿泊業

株式会社 通

キャンプ場運営



代表者名 代表取締役 田口 美郷 設立年月日 2015年（平成27年）9月16日
所在地 〒405-0036 山梨県山梨市矢坪 1669 番地 25
TEL 080-9677-1010 FAX なし
E-Mail hottarakashicamp@gmail.com URL https://hottarakashicamp.com/
資本金額 200 万円 従業員数 4 人



代表取締役 田口 美郷

テーマ

森林資源の薪利用による環境保全と魅力あるキャンプ場づくりの両立

当地の自然あふれる環境の維持や自然と共生するキャンプ場として、キャンプ場が位置する山林の間伐材を有効活用し、「薪」を活用したキャンプ体験の魅力づくり、森林資源の維持の両立に取り組んだ。

キャンプブームが続いている。若年層からシニア層に至るまで幅広い人気があり、平日や冬季など閑散期に一人でキャンプに出かける「ソロキャンパー」も増加。多様な楽しみ方ができるキャンプは、「古くて新しいレジャー」として再認識されている。

アウトドア業界では自然環境との共存も大きなテーマになっている。米国では 1989 年、業界各社がビジネスで得た利益の一部を環境保護に還元する目的で、コンサベーション・アライアンスという団体が設立された。現在 230 社を超える企業が参加し、大きな成果を上げている。

日本でも一般社団法人コンサベーション・アライアンス・ジャパンが設立され、「チャムス」や「コロンビア」「グレゴリー」「スノーピーク」といったアウトドア企業が参画。近年は SDGs の観点からも、環境を守る活動はますます重要性を帯びている。

こうした背景を受け、山梨市矢坪で「ほったらかしキャンプ場」を営む株式会社通は、魅力あるキャンプ場の運営と森林資源の維持の両立に着目してきた。

豊かな森林を維持していくには、自然のサイクルに任せるだけでなく、人の手による間伐も必要だ。間伐が適切に実施されている森林には光が射し込み、下草などの下層植生が繁茂。多様な生物が生息を維持できるほか、水源かん養機能や土砂流出防止

機能が高いとされる。一方で、高齢化に伴う林業従事者の減少で、適切な間伐が行われなくなっている現状がある。

同社によると、こうした状況を改善していくため、国内では林業の会社がキャンプ場を運営している事例があるという。薪や木炭、ホダ木などの生産を手がける（株）大西林業（北海道白老町）は、持続可能な森づくりのために森林経営の多角化が欠かせない中、キャンプ場の運営を始めた。単なるキャンプ場としてだけではなく、「小型の機械と人の手で山に負担を掛けずに行う環境保全型の林業」の担い手を育てる研修地も目指しているという。一般の利用者が、炭焼きや薪作り、ホダ木づくり、メイプルシロップの採集といった「森の仕事」を体験できるアクティビティも充実させている。

間伐材で炭を生産している会社もある。（株）スタンドケイ（大阪府）では、バーベキュー場やキャンプ場でのレジャーを楽しみながら森林保全活動もできる「LOHASumi」を商品化している。「LOHASumi」は高い技術力をもつ炭職人が作る高品質な木炭で、関西の森林で間伐した木材を原料としている。こうして作った木炭を利用することで生まれる利益を森林保全（間伐）に還元し、持続可能な森林保全の循環につなげている。



● 平日でも大勢のキャンパーが訪れる「ほったらかしキャンプ場」



● 自慢のダイナミックな眺望

間伐材を効率よく大量に薪に加工、持続可能な森林保全の循環へ

そこで株式会社通は、ものづくり補助事業を利用して、山林整備で出た間伐材を薪に加工して販売し、薪を使ったキャンプ体験を創出する取り組みを始めた。

導入したのは、薪製造機「ハッキピルケ 43PRO」。代表の田口美郷さんによると、クヌギなどの火持ちの良い広葉樹から、火がつきやすく温度が上がりやすい針葉樹にも対応できるという。送材、切断、薪割り、排出のすべての行程を流れるように進めることができ、加工時間は一般的な薪割り機と比べて4分の1とスピーディーだ。切った薪は、少なくとも3カ月間は乾燥させる必要があるため、乾燥設備も独自に導入した。

完成した薪はキャンプ場受付で販売。キャンプでのたき火やたき火料理に利用してもらっている。田口さんは「ハッキピルケ 43PRO はかなり大型の薪



● 導入した新製造機「ハッキピルケ 43PRO」



● 薪に加工する前の間伐材



● 乾燥中の薪

常にゲストを飽きさせない仕掛けを用意、3カ月先まで予約埋まる

株式会社通は、「ほったらかしキャンプ場」の開業（平成 28 年 6 月）にあたり、平成 27 年 9 月に設立された。最大の魅力はその眺望だ。甲府盆地の北東、標高約 700 m に位置し、正面に富士山、眼下には甲府盆地が広がる。夜は澄んだ星空を見上げ、時間とともに移りゆく景色や夜景をダイナミックに楽しめる。

バリエーションに富んだサイトも特長。自然の地形を生かし、区画サイト、フリーサイト、ハナレサイト、ダイノジサイト、小屋（コテージ）付きサイトと多彩なサイトがあるが、それぞれ眺望が違い、シーンの違いや楽しみ方の違いを打ち出している。

「私もスタッフも重機のオペレーションができるので、自前でサイトの整備や拡張ができることも大きいです」。キャンプ場は田口さんが以前、勤務していた日帰り温泉「ほったらかし温泉」の北西側隣

地に位置しているため、キャンプ場利用者がすぐに温泉に行ける距離感も好評。ほったらかしキャンプ場の人気の高さは、3カ月先まで平日も予約が埋まっているという状況からもうかがえる。

「お客さまに楽しんでもらうため、敷地内にカフェやバーも順次開設しました。さらにコーヒーの焙煎所も設ける予定です」。常にゲストを飽きさせない仕掛けを用意していることも人気につながっているようだ。

ものづくり補助事業について、「実は知り合いの中小企業診断士から聞くまで知りませんでした」と振り返り、「利用することができて良かったです。大変価値のある事業だと思うので、もっと広く PR して多くの企業に利用してもらいたいです」と話しました。



● 受付で販売している薪



● カフェ店内の薪ストーブ